

ENŌKI

えのき



新宿区立漱石山房記念館

ごあいさつ

9月24日に開館しました、新宿区立漱石山房記念館館長の鈴木靖と申します。漱石山房記念館は牛込馬場下横町(現・喜久井町)で生まれ、早稲田南町7番地で亡くなった、文豪・夏目漱石の初の本格的記念館として開館しました。開館前の準備段階から現在まで、榎町地区の皆さんにはいろいろとご配慮いただき、ありがとうございます。

漱石の生誕地、終焉地は共に榎町地区にあります。そういった点で榎町地区は新宿区内でも漱石と最も所縁の深い地域といえます。今後も榎町地区の皆さんにとって、地域の大先輩にあたる夏目漱石の記念館として充実を図ると共に、気軽に漱石の作品に触れていただける親しまれる記念館にまいります。

記念館にはコーヒーを飲みながら漱石の著作を読むことができる1階のブックカフェや、町会、自治会等地域のコミュニティ団体にもご利用いただける講座室もあります。是非、皆さんのご来館をお待ちしています。

夏目漱石

暗唱コンクール

今年で第4回目となる、榎町地区町会連合会(会長：中村廣子)主催「夏目漱石」暗唱コンクールが実施され、10月22日の地域センターまつりの一環として表彰式を行いました。(協賛：東京新宿東ライオンズクラブ、新宿天神郵便局)

コンクールは管内の小学校(江戸川小、早稲田小、鶴巻小及び牛込仲之小)の5年生と6年生の総勢333名が参加し、5年生は「坊っちゃん」、6年生は「吾輩は猫である」のそれぞれ冒頭部分から約800文字の文章を暗記して読み上げ、その正確性や聞き取りやすさなど暗唱の出来栄を競いあいました。

各学校予選を勝ち抜いて集った本審査会は、どの参加児童の暗唱も大変素晴らしい内容で、非常に高いレベルでの審査となりました。

また、今年は早稲田南町に完成した「漱石山房記念館」の開館記念式典において最優秀賞者による暗唱を披露し、多くの人々の賞賛を受けていました。



受賞者は以下の通りです。(敬称略)

6年生

最優秀賞	加藤 純	早稲田小
優秀賞	川本 翔也	早稲田小
〃	竹内 綾	牛込仲之小
奨励賞	木暮 碧	江戸川小
〃	高木 理央	〃
〃	上領 晋ノ介	早稲田小
〃	高橋 未来子	〃
〃	早川 千都	〃
〃	網代 祐大	〃
〃	寒川 英政	鶴巻小
〃	田中 碧	〃
〃	飯島 了貴	牛込仲之小
〃	崎山 雄太	〃
〃	阿萬 良聖	〃

5年生

最優秀賞	渡邊 和人	早稲田小
優秀賞	山田 壮真	牛込仲之小
〃	三上 雄也	〃
奨励賞	岡田 凜子	江戸川小
〃	高山 心友	〃
〃	清原 千尋	早稲田小
〃	宇山 心海	〃
〃	中山 鼓太郎	〃
〃	小林 裕	鶴巻小
〃	小松 周世	〃
〃	島村 はるか	牛込仲之小
〃	大島 ゆず	〃

秋のごみゼロデー

11月17日(金)、「秋のごみゼロデー」として一斉道路美化清掃が行われました。この取り組みは、ごみ減量リサイクル課が行う「新宿区秋のごみゼロ運動」の一環として、榎町地区の関係団体が相互に呼びかけて行うもので、年に2回実施しています。この日は、牛込清掃協力会、赤十字奉仕団榎町分団、及びシルバー人材センターから、20名以上の方々に参加していただきました。

午前10時、鶴巻南公園を出発し、早稲田通りの歩道をごみを拾いながら歩きました。今年春のごみゼロデーは、あいにくの天候により中止となりましたが、この日は絶好の清掃日和。秋晴れの下、気持ちよく活動することができました。特に、早稲田駅周辺は人通りが多く、空き缶等のごみがたくさん落ちていましたが、馬場下交差点交番前に到着する頃にはごみゼロの早稲田通りになりました。最後は、穴八幡宮前で恒例の記念撮影。牛込清掃協力会よりお茶が振る舞われ、無事終了となりました。

今年も、漱石山房記念館や草間彌生美術館もオープンし、益々注目を集める榎町地区。今回の取り組みで、一層魅力的なまちになったと感じています。また、区内随所で実施されるこのような取り組み一つひとつが、区の目指す「きれいなまち新宿」の実現に繋がっていくのだと思います。参加者の皆様、ご協力ありがとうございました。



東京初空襲余談

榎町 大竹良重(満八十九歳)

昭和17年(1942年)4月18日の、米ノースアメリカンB・25・16機による日本本土初空襲は、隊長名を付した「ドウリットル空襲」として知られている。米陸軍の双発軽爆撃機を空母「ホーネット」にクレーンで搭載し日本近海1200キロ迄接近して発艦したものである。帝国陸海軍は防備の虚を突かれ、帝都防衛での大失態を、鉄壁の守りを信じる国民の前に晒した。軍は、九機撃墜と発表したが実際は16機全部が無傷で、日本列島の上空を通過した。(その後16機は中国に向ったが4機は着陸に失敗し大破、9機は燃料切れでパラシュート脱出、2機は日本軍占領地域に不時着し、最後の1機はソ連領に不時着した)その日午後2時の東部軍司令部発表では「けふ帝都に敵機来襲／＼9機を撃墜、わが損害軽微」であった。損害軽微の陰には、東京府内だけで、一般人の死者39名重軽傷者307名があった。(都制の施行は昭和18年)

初空襲に関しては、戦後公開された日米双方の資料や、数多い体験談等によって、だんだんと実態が明らかになっているが、その第一歩とも言う

べき爆撃コースについては、戦後米軍が公開したコースと、複数のB・25目撃地点を勘案したコースとは、一致しないことが、最初から指摘されている。米軍側で示すコースは地図自体に誤りがあるからである。この問題は、宿題として残ったままである。

初空襲から満75年、体験者も年を追って少くなっている。新宿区としては、馬場下町、早稲田鶴巻町が被弾している。何故かいずれも軍事施設や、軍需工場がない場所である。B・25・16機中、東京に侵入したのは警視庁発表によると6機である。その中の1番機(ドウリットル隊長操縦機)が馬場下町、早稲田鶴巻町にエレクトロン焼夷弾を投下したことが公開資料から判明している。前者では早稲田中学校の校庭にいた生徒が直撃を受け犠牲になるとい痛ましい事が生じた。後者では岡崎病院(現在は医院)が被弾し被害を受けたが幸い入院患者を含め人的被害は無かった。此処は2012年に新宿区から、平和分野で地域文化財に認定されている。

以上は、報道される機会も多く、周知の空襲被害となっている。

満75年に当って、私が東京初空襲に関して本稿を記すと決めたのは、鮮明に残る当時の記憶をもとに、一般に知られていない様々なことを出来るだけ細部に亘って書き留めるためである。

早稲田鶴巻町にあつて岡崎病院と同時被弾した事業所があり、その際の焼夷弾への、従業員の消火活動が、当時の新聞に大きく扱われたこと。また、此処と鶴巻小学校建物との間からB・25の飛来が確認されていること。これらの事実は、今殆んど語られることはない。これは事業所が昭和20年に国策で解散したこともあるが、当事者全員の超高齢化が進んだ事に主因がある。すでに死亡された方も多く居られる。

以下に述べる事柄は、東京初空襲を調査する上で、既知のものと同様か、それ以上に価値があるのか、或いは、単なるエピソードに過ぎないのか、何れにしても、これらを、このまま埋もれさすのは残念だとの思いが根底にある。本件、戦後70年以上も無言を通したのは、心情的に口外を憚る内容にも触れるからで、今は最後の機会と思ひ、敢てこれらを含め全てを明らかにしたい。

くじく

平成29年度 コミュニティスポーツ中央大会

複地区の 各チームが健闘!

12月10日(日)、新宿区内の各地区大会を勝ち抜いたチームが一堂に会し、ビーチボールバレー、ユニカール及び輪投げで試合交流するコミュニティスポーツ中央大会が、新宿ゴズミックセンターで開催されました。複地区では、ユニカールの部で早稲田南町Bチーム(写真前列)が優勝、同部で早稲田南町Aチーム(同後列)が3位に入賞しました。



のんびり歩こう会

鉄道博物館・大宮公園

11月3日(祝)、今回で46回目となる「のんびり歩こう会」が催されました。地域の子どもから大人まで、60名が集まり、埼玉市の鉄道博物館を見学し、氷川神社総社のある大宮公園を散策しました。

「のんびり」の呼び名で多くの鉄道ファンから愛されている鉄道博物館ですが、館内には鉄道の原理や仕組みなどを体験的に学習することができる大きなジオラマや、鉄道創業期の蒸気機関車や大正、昭和のレトロな電車の実物車両が数多く展示されていました。客車に入ることでもできて、懐かしい昔を思い出した方もいたようです。

大宮公園は自然豊かな森林緑地の中、大きな池のある公園です。ミニ動物園もあって、思いのほか動物の種類も多く、熊やハイエナなどもいて、まじかに動物をみる事ができました。

帰りの大宮駅までは、日本の参道の中で一番長い(二キロ)と言われている氷川神社の参道をのんびり歩きました。



主催

早稲田地区青少年育成委員会
榎町地区町会連合会
榎町特別出張所

地区内小学校対抗 ドッジボール大会

11月26日(日)、鶴巻小学校を会場に、地区内小学校対抗ドッジボール大会が開催されました。早稲田、鶴巻、牛込仲之、江戸川の小学校から140名の選手が出場しました。

低学年8チームはA・Bブロックに分れ、ブロックごとに総当たり戦を行い、終了後、順位決定戦を行いました。高学年6チームは総当たり戦を行いました。低学年は16試合、高学年は15試合と、例年より多くの試合が行われました。

いずれの試合も白熱した好試合で、選手たちがボールを追い続け、相手に向かって懸命にボールを投げる姿が印象的でした。

ご家族の皆さんの熱心な応援、ありがとうございました。



● 低学年の部
試合結果

優勝	江戸川小学校Aチーム
第二位	江戸川小学校Bチーム
第三位	牛込仲之小学校Aチーム

● 高学年の部
試合結果

優勝	早稲田小学校チーム
第二位	鶴巻小学校Aチーム
第三位	江戸川小学校Bチーム

主催 早稲田地区青少年育成委員会
協力 スポーツ推進委員 榎町特別出張所

「開校百十周年・開園七十周年を迎えて」

明治41年9月1日の開校から百十周年を迎えた牛込仲之小学校、昭和22年4月1日の開園から七十回目の誕生日を迎えた牛込仲之幼稚園、この間12460名の卒業生と3883名の修了児を世に送り出してきました。

「牛込尋常小学校」として誕生した本校は開校当時、「牛込原町小学校」の前身である「牛込高等小学校」が同じ敷地内にあつたため、「牛込小学校」や「牛込尋常高等小学校」という通称で呼ばれていたそうです。平成10年に統合した牛込原町小学校とは、その時から深い縁で結ばれていたようです。

さて、開校・開園を祝う取組として、子どもたちは、5月の記念運動会の際に、表現運動の中にお祝いの工夫を取り入れました。7月には、地域協働学校の委員の皆様から、昔の牛込仲之小学校のお話を伺い、9月27日の記念集会において、学年ごとに発表しました。その集会の後半には、先輩である児童文学作家の丸田かね子様に戦争体験のお話をいただきました。同日、幼稚園ではハッピーバースデーの会を行い、大きなケーキに画用紙で手作りした70本のろうそくを立てました。

9月30日の記念式典には、大勢のお客様をお迎えして、年長・年中さんと4・5・6年生が代表として参加し、アトラクションを披露したり歴史を振り返ったりしました。

記念祝賀会は、PTAを中心とした事務局を立ち上げ地域協働学校運営協議会と連携しながら、式典と同日午後には体育館にて挙行しました。多くの同窓生のご参加をいただき盛大に執り行う中、昭和39年の東京オリンピックにおいて鼓隊として開会式に出場された前田行輝様と小林正樹様がスペシャルゲストとしていらしてください、貴重な体験談をお話ししてくださいました。プロ野球選手の浅間大基様からは卒業生としてお祝いのビデオメッセージをいただき、感動の時間となりました。

また、長い間歌われていなかった校歌の3番には、「牛込小学校」という歌詞があることが分かり、何十年か振りに記念集会や記念式典、記念祝賀会において合唱しました。3番は「世に仰がるる人としならん」と締めくくられ、本校児童の目指す理想が示されています。

子どもたち・保護者・地域・同窓生・学校みんなで祝う一年と位置づけています。子どもたちが、これからの牛込仲之小学校・幼稚園の歴史と伝統の創り手として、気持ちを新たにする契機とするため、私たちは、先人が築き上げてきた歴史と伝統を受け継ぎながら、新たな取組にもチャレンジしていきます。



まち探検

「ぼくたちは、わせた小学校の2ねんせいです、よろしくおねがいしますー!」

11月22日水曜日の2・3時間目に「2年生まちたんけん」が行われました。初冬の寒さの朝でしたが、子ども達は元気いっぱい、それぞれの目的地へと向かいました。

今回ご協力をいただいた施設は、児童館や図書館といった公共施設から、スーパーや文房具屋さんのような小売店まで、幅広いものでした。子ども達は興味のある施設を選んで班を作りました。そしてそこで働く方々に聞いてみたいことをたくさん考えてきました。

「この道具は一体何に使うの?」「お客さんはどんな人が多いですか」「働いていてうれしかったことは何ですか」

案内が始まると、子ども達の口からは次々に質問が飛び出します。その一つ一つに丁寧に答えてくださる施設やお店の方々。想像をこえる問いかけに戸惑う場面もありましたが、にこやかに対応してください、温かい気持ちになりました。

また、この「まちたんけん」には引率者として30名近い地域の方々や保護者が参加しました。道順や交通ルールに気をつけて行き帰りを見守ったり、メモをとるのを手伝ったり、他の利用者のご迷惑にならないように注意したり、と多大なるご協力をいただきました。

地域の子どもを地域で育てる。ひと昔前では当たり前だったことが今は難しくなっています。早稲田小学校の2年生は地域の皆さまに支えられて、また、一回り大きくなったのではないのでしょうか。



三菱自動車出前授業

10月20日(金)に、三菱自動車工業(株)の出張授業『体験授業プログラム』がありました。同月の5日に社会科見学で、工場で働く人々のいろいろな工夫や自動車の製造工程について理解を深めてから受けた授業です。今回は「環境」をテーマにしたこれからの自動車づくりについて教えていただきました。クイズあり、電気自動車の試乗体験あり、車の部品に触れる体験あり…2時間の中で多くのことを楽しく学ぶことができました。

授業の前半では、主に電気自動車の開発経緯やこれからの社会に求められている車づくりについて教えてもらいました。クイズ形式の授業でしたが、中でも子どもたちが驚いていたのは「電気自動車がいつ誕生したか」という問いです。なんと、140年



前にはもつ既にあったそうです。「当時は社会に中々普及せず一度開発が縮小したものの、近年の環境への意識の高まりによって再度注目された。」ということでした。授業後のまとめに活用する子どもも多く、歴史的な視点からも自動車づくりをとらえることができました。

授業の後半は、2グループに分かれて電気自動車の試乗と車の部品に触れる体験を交互に行いました。特に電気自動車の試乗では、実際に乗せてもらったことでエンジンの始動音・走行中の音、加速の滑らかさ…などガソリン車との違いに気付くことができました。「排気用の筒がない!」と、自分たちでマフラーがないことを発見するなど、電気自動車のしくみを学ぶ姿がたくさん見られました。



高齢者クラブでいきいき 元気に暮らそう

榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況をお知らせします

23

① 第32回 区高連 グラウンドゴルフ大会

平成29年10月10日(火)戸山多目的運動広場において開催され、新宿区の47チームが参加しました。

榎地区からの出場は8チーム、成績で上位入賞は、第5位の早稲田永楽会(123打)が最高でした。

他の参加クラブは次のとおりです。(成績順)

- ・弁天町和老クラブ、山吹会、原一あゆみ会、薬王寺長寿会、柳町すみれ会、原一わらく会。以上

② 平成29年度 区高連 秋季高齢者福祉大会

平成29年11月16日(木)新宿文化センター大ホールにおいて開催され、新宿区の72組のクラブ、団体が参加し、日頃の練習成果を披露して、終日演芸を楽しみました。

榎地区からは次のクラブが参加し、日頃の練習の成果を披露しました。(出演順)

- ・フォークダンス ・原一あゆみ会10名。
- ・リズム体操 ・あかぎ友の会13名。
- ・合唱 ・西鶴クラブ9名、早稲田長寿会6名、第一・第二友鶴会11名、早稲田永楽会12名、薬王寺長寿会18名、原一わらく会12名、弁天町和老クラブ15名。以上

(資料提供: 新宿区高齢者クラブ連合会)

「老人クラブ(高齢者クラブ)1700万人会員増強運動展開中 老人クラブの魅力」

「会員になると、いきいきとした高齢期の生活(シニアライフ)が実現できます」

1. 地域に新しい仲間ができます。
 2. 知識や経験を生かし、新しい能力の発揮ができます。
 3. 健康の保持・増進になります。
 4. 社会活動への参画と貢献ができます。
 5. 心の安らぎ、充実感が得られます。
- あなたの参加で楽しいクラブを —

(公益社団法人 東京都老人クラブ連合会 広報誌「都老連より」)

「各クラブでは随時、新入会員を募集しています」。

新年度から入会される方は、3月中に入会手続きをお願いいたします。

日本の伝統文化を楽しむ会

みんなで落語をきこう

落語家さんといっしょに

古典落語を体験！

春風亭正太郎さん他の落語家さんが古典落語を披露してくれます。「落語ってどんなもの？」高座に上がって体験してみましょ。

コマまわしや紙風船の昔あそびも楽しんでください。ご家族、お友だちもさそって、みんなで落語をさいてみましょう。

●日時 2月17日(土)

12時30分開場 13時開演

●会場 榎町地域センター4階ホール

●参加は無料です。

●ごなたでも参加できます。

*詳細については、町会の掲示板のお知らせをご覧ください。

東京消防庁より感謝状

本年11月に東京消防庁より「子ども防災キャンプ」の事業を対象に、防火の普及及び人命安全対策の推進に寄与したことへの感謝状をいただきました。

「子ども防災キャンプ」に参加いただいている牛込消防団はじめ、団体の皆様にご報告すると同時に、皆様の多大なご助力ご協力で感謝いたします。

早稲田地区青少年育成委員会

会長 吉田 律子

早稲田地区青少年育成委員会

わたしたちの町をきれいに！

榎クリーンデー

私たちの住む町をきれいにお掃除しましょう！

榎町地区全域で一斉清掃を行います。ほうきやちりとり、ゴミ袋は各自でご用意ください。

●日時 3月4日(日)

午前9時～10時

*集合場所等の詳細は、各町会の掲示板にてお知らせします。



昔あそび

もちもちの会



牛込第二中学校の生徒たちが地域の方々との交流を深めるために「昔あそび・もちもちの会」を催します。もちつきの他に凧揚げやコマ回し、羽つきなどの昔あそびも楽しみましょう。

ご家族やお友だちをさそって遊びに来てください。

●日時 3月11日(日)

午前10時～午後1時

●会場 牛込第二中学校

●協力 牛込第二中学校

榎町子ども家庭

支援センター

スポーツ交流

お知らせ

ユニカールと輪なげ

ユニカールは特殊カーペットの上で、ストーンを滑らすように投げ、円形の目標地点により近づけることを競うゲームです。両チームがそれぞれ3個のストーンを目標地点に向かって交互に滑らせて相手のチームのストーンを弾き飛ばし、自分のストーンを目標に近づけます。初めての方でも気軽にできます。

輪なげは輪なげ板にある数字の棒に輪を投げ入れ、得点を競います。

子どもからお年寄りまで楽しめます。

●日時

① 2月4日(日)

② 2月18日(日)

③ 3月4日(日)

④ 3月18日(日)

①～④ 10時～12時

●会場 榎町地域センター

4階多目的ホール



*事前の申込みは必要ありません。

当日、会場にて参加を受け付けます。運動のしやすい服装で上ばきを持参ください。

問合せ 黒川 孔晴

TEL 03(3268)1777

主催 わせだスポーツ文化協議会

榎町地域センター

団体登録証更新について

現在、ご使用いただいている団体登録証(黄色)の有効期限は平成30年3月31日までです。

更新手続きがお済でない場合、4月1日以降、登録団体としての部屋利用が出来なくなりますので、左記により手続きをお済ませ下さい。

○新団体登録証有効期限

平成30年4月1日から3年間

○更新方法

新しい団体登録申請書・会員名簿・会規約を榎町地域センター管理運営委員会事務局へ提出して下さい。

榎町地域センター

管理運営委員の募集

榎町地域センターは、新宿区から指定管理者として選定された「榎町地域センター管理運営委員会」が管理運営を行っています。つきましては、左記のとおり委員の一部を公募しますのでお知らせします。

応募資格：榎町特別出張所管内に在住の方

任期：3年

募集人員：13名

えのき文芸



メールつく羊蹄に雪焚火かな

大籠 紀子

木枯しが枯葉ころころ追いかける

奥瀬 イチ

子宝の写真散りばめ賀状来る

加藤 理君

明くるまで虎落の笛と過したり

金澤 誠

老ゆるほど母に似て来し初鏡

軽部とみ子

からみ合ふ飛行機雲や霜の朝

川口 あきを

冬の雨愛する人と別れけり

北野 明治

掃き寄せて吹き戻されて落葉焚き

木村 かづこ

ゆく年の除夜の鐘きき初詣で

久根下 和子

松千両活けて家族の幸祈る

菅原 美智子

めでたさや雲ひとつなき初御空

梨平 美沙子

買っちゃった初夢叶へ宝くじ

水上 香子

雪つりの縄引く人や昼の月

山口 敏子

短歌



さまざまの菩薩を描く媼あり

その顔や菩薩に似たり

青木 久彌

寒き夜は湯気たちのぼるおでん鍋

囲めば家族の絆深まる

加藤 千代子

夕暮れのビルの谷間の銀杏並木

ビルの灯りが黄の色照らす

金成 光祥

川柳



皆出かけ天下泰平ちびり酒

病癒えますます冴える嫉妬心

大籠 紀子

トランプさんボケなし漫才やめなさい
早や八十路どちらが先かまだ先さ

菅野あきら

振り向いて思う感謝と人の縁
付度がにじむ値引きの国有地

小山 一湖

何時もより留守にするのか粧し込む
飛び出した憎まれ口の初寝言

田実 孜

低次元が権力をもつ恐ろしさ

青木 久彌

春の花

ウメ(梅)

バラ科サクラ族の落葉高木。桜に先駆け早春に咲く。古く中国から渡来し、平安時代から香りが高貴なことで知られている。



広報部からのお知らせ

「家族の肖像」技の伝承」の企画記事に登場いただける方の情報をお寄せください。

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供も榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載の作品を募集しています。次号の俳句の話題は「春」、川柳は自由吟です。投稿はハガキかファックスに、俳句川柳の別を明記の上、3月10日(土)までに榎町地域センター事務局迄お送りください。

〒162-10042
新宿区早稲田町85
TEL (3202) 8585
FAX (3202) 2478